

あれから(廃線)20年

# 三河線廃線区間

## 猿投編



猿投-----	1
LE-car や 6000 たち-----	2
春夏秋冬-----	9
春-----	10
夏-----	12
秋-----	13
冬-----	15
猿投駅周辺の変化-----	17
猿投駅前の朝市-----	17
猿投駅前のロータリ工事-----	20
ロータリー完成-----	21
駅前に「棒の手警固祭り」の幟旗-----	22
猿投検査場に入線した三河線では珍しい車両たち-----	23
さなげ足助バス「バス停新設・廃止」-----	26

猿投は大正 13 年 10 月 31 日、開業したが、駅舎はなく、廃車となった客車を使用し、真ん中で仕切り半分は駅長室、半分は待合室と使用していたという。

れいめい(社内機関紙)では、駅舎ができたのは昭和 5 年頃と記してあったが、平成 5 年駅舎を解体したとき「棟札」が発見され、昭和 7 年、井上徳三郎が寄贈したことは判明。(詳細は次頁)

猿投駅開業以後、枝下・三河広瀬・西中金駅も開業時、駅舎の代わりに「廃車された客車」を使用していたことが判っている。

枝下駅は 1988 発行の「三河線各駅停車」著者・杉本誠 に書かれている。三河広瀬駅は「ふるさとわがまちづくり」東広瀬下切自治区に記載(平成 25 年に確認)されている。西中金駅は、昭和 3 年、北側に廃車された客車が駅舎代用だったと中金売店の安藤さん(先代)が語っていた。

# 猿投

井上徳三郎は、名古屋市出身の実業家で大正元年、猿投村大字四郷字東山一帯の土地 130 町歩を買い「井上農場」を開く。

大正 12 年に寺部の農学校が郡制廃止で経営難となり困窮していたとき、農場内の一部を寄贈して現在の県立猿投農林高校を誘致。

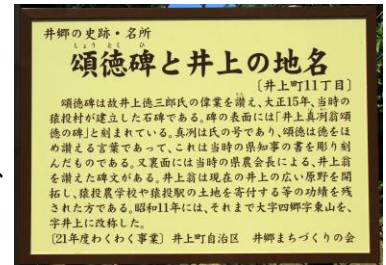
大正 13 年、三河鉄道が足助まで路線延伸を決定したとき、井上徳三郎は、越戸まで農産物を牛馬車で運搬して出荷していたが、井上農場内に駅を設け、農場から直接出荷しようと考え、三河鉄道と掛け合い駅(猿投)構内の土地 6000 坪を寄贈し誘致に成功した。

こうした歴史があったことを知ると「平戸橋駅を出ると列車は西へ進み、北進して猿投駅へ。猿投駅を出ると東にカーブして、矢作川沿いに北進している。」

この事実を知るとこの区間の謎が解ける。

平成 5 年猿投駅舎を解体したとき棟札が発見され、昭和 7 年 11 月 6 日、井上徳三郎が社宅付駅舎を寄贈したことが判明。その証しが、この棟札です。

開業当時、廃車した客車を使用し、中ほどで仕切り待合室と駅事務所に分け使用していたという。



棟札



開業…大正 13 年 10 月 31 日

所在地…豊田市井上町 5 丁目 62

貨物営業廃止…昭和 59 年 1 月 1 日

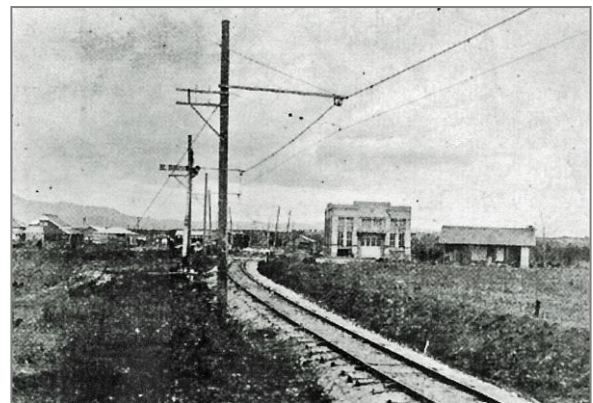
全線電化(猿投～大浜港・現・碧南)…大正 15 年 2 月 5 日

検査場設置・構内配線変更…昭和 54 年 6 月 10 日

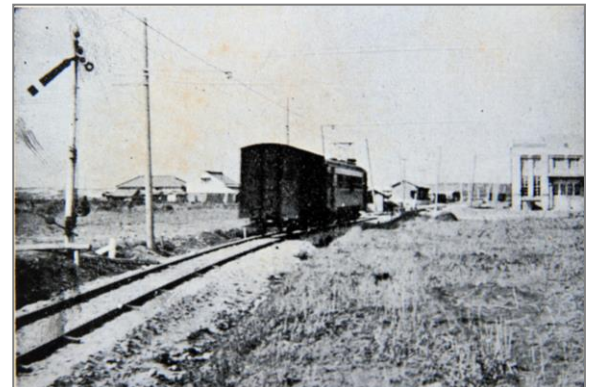
2 代目駅舎…平成 5 年 9 月 1 日

猿投～西中金間レールバス化…昭和 60 年 3 月 14 日

同区間廃止(8.6km)…平成 16 年 4 月 1 日



腕木式信号機…上・停止信号 下・進行信号



昭和 55 年頃の猿投駅

# LE-carや6000たち



















春

夏



秋

冬





平成 26 年 3 月 15 日



梅花満開…平成 24 年 3 月 20 日

# 春



梅開花…平成 22 年 2 月 28 日



新緑…平成 24 年 5 月 19 日



ハナミズキ…令和5年4月20日





令和3年8月18日



夏



令和4年7月2日



彼岸花…平成 24 年 9 月 29 日

# 秋



平成 29 年 9 月 24 日



構内風景…平成 22 年 11 月 26 日



木々の黄葉…平成 23 年 11 月 26 日





名古屋では 58 年振りの大雪(23 cm)とか…平成 17 年 12 月 19 日



平成 20 年 2 月 10 日



平成 24 年 2 月 2 日



平成 26 年 2 月 8 日





猿投駅の開業は、大正 13(1924)年 10 月 31 日である。構内の用地 6000 坪は、井上徳三郎が寄付。開業時の駅舎は、廃車となった客車を使用。名鉄れいめい(1972 年 9 月号)によると 5～6 年後、駅舎を新築したと書かれていたが、平成 5 (1993)年、駅舎を解体したとき「棟札」が発見された。この棟札によると昭和 7 年 11 月 6 日、井上徳三郎が寄贈したことが判明。



昭和 54 (1979) 年 6 月 10 日、構内の配線を変更し検査場を設置。平成 5 (1993)年 3 月 31 日、検査場留置線を 6 両に拡張した。平成 16 年 3 月 31 日まで、レールバスの検査設備も併用していた。新駅舎は平成 5(1993)年 9 月 1 日完成。

## 猿投駅周辺の変化



平成 24 年 8 月 12 日、午前 10 時 55 分頃、猿投駅前の写真を撮ろうと立ち寄り吃驚。駅前で朝市が…。何度となく訪れているのに、店の方に聞いたところ、昨年 7 月から毎土曜・日曜日の午前 11 時まで開催しているとか。今まで午後に立ち寄っていたため、出会わなかったようだ。

調べてみると猿投駅前の朝市は、平成 23 年 7 月 2 日から開催されている。この朝市もコロナ禍で消える？

### 猿投駅前の朝市

平成 23 年 7 月 2 日オープン 9:00~11:00 毎週土曜・日曜日開催



写真は平成 24 年 9 月 22 日



平成 24 年 11 月 3 日



平成 29 年 5 月 27 日



平成 29 年 5 月 27 日



平成 30 年 7 月 24 日



平成 29 年 8 月 23 日



令和元年 8 月 3 日



令和 2 年 4 月 4 日

猿投駅前の朝市は、コロナ禍で中止していたが、幟旗や横断幕は令和 2 年 4 月 4 日まで掲げていた。平成 5 年 9 月 23 日(土)確認したところ、幟旗や横断幕が撤去されていた。中止になったのかな？



平成 24 年 3 月 8 日



平成 24 年 12 月 13 日

## 猿投駅前口一タリ一工事



平成 25 年 1 月 12 日



平成 25 年 1 月 12 日



平成 25 年 3 月 9 日

**猿投駅前  
ロータリー完成**  
平成 25 年 3 月 30 日

**使用開始…平成25年4月1日**





猿投駅周辺に「棒の手警固祭り」の幟旗が一面に…。…令和4年10月8日

## 駅前に「棒の手警固祭り」の幟旗

令和4年10月8、9日、五穀豊穡を願って「棒の手警固まつり」が行われる四郷八柱神社では県の無形民俗文化財に指定されている。

私が初めて「棒の手」を見たのは、60余年前、猿投神社の秋の例大祭である。棒の手は、今から460年前、戦乱の時代に農民が自分の身を守るために武術を身に付けたのが始まりといわれている。







1000形…平成19年7月16日



1600形…平成20年7月5日

## 猿投検査場に入線した三河線では珍しい車両たち



1000形2連8両…平成19年8月9日



1600形2連6両…平成20年7月5日



7000形…平成20年9月17日

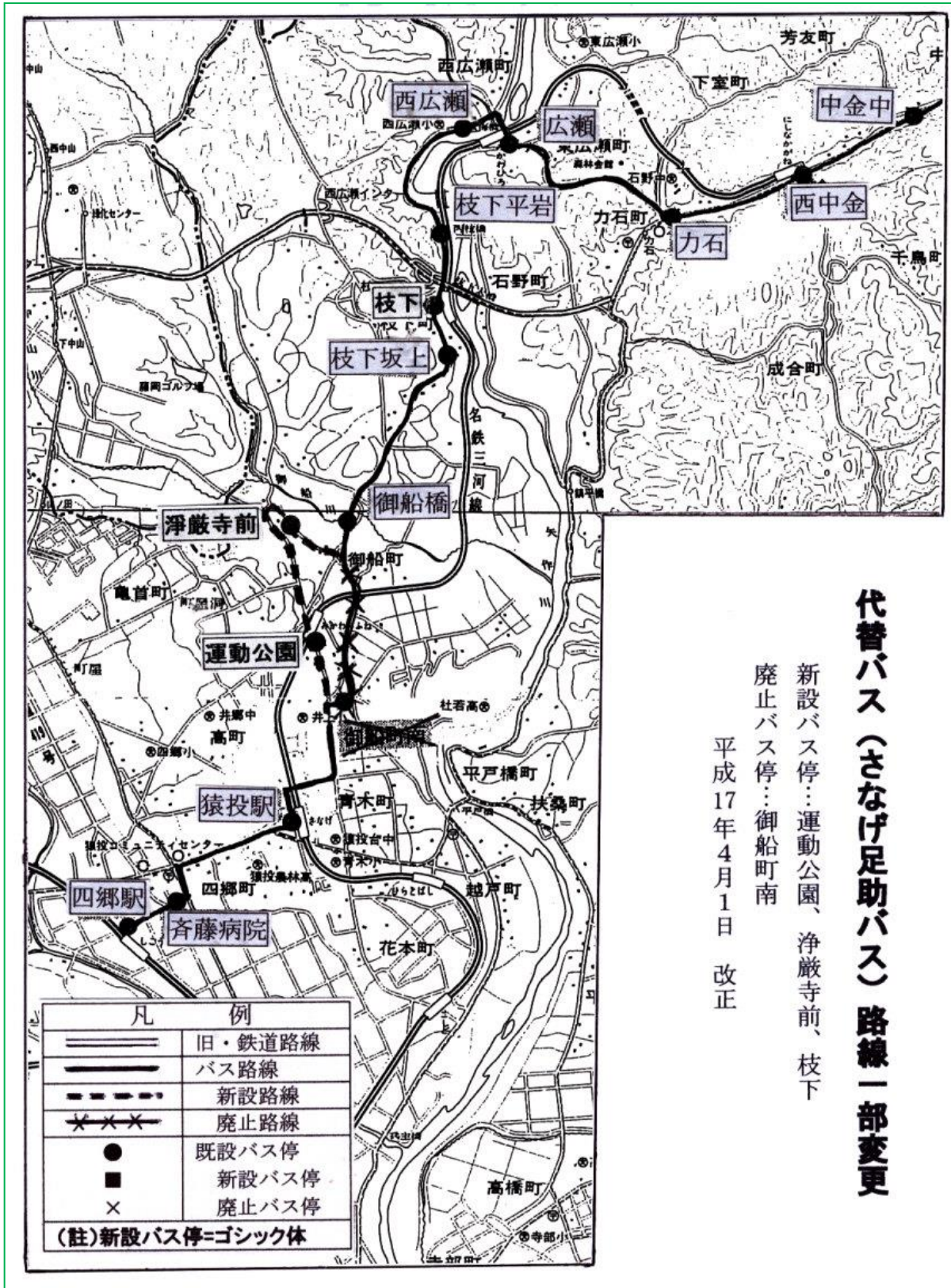
7000形…平成21年4月10日





1000形2連8両…平成19年8月9日

# さなげ足助バス「バス停新設・廃止」



## 代替バス（さなげ足助バス）路線一部変更

新設バス停：運動公園、浄厳寺前、枝下  
 廃止バス停：御船町南

平成17年4月1日 改正

猿投駅前から足助百年草行きバス時刻表 1時間に1本運行

平日…6:34 7:01 8:42~15:42まで毎時42分 16:12~18:12毎時12分 19:42分

20時と21時は45分発

土休日…始発のバス7:42から終バスの21:42まで、毎時42分発です。

猿投駅舎 2代目



